

【防災情報】北上川ダム統合管理事務所 低気圧に伴うダム防災情報 (第5報) (終報) ～ダムの効果について～

4月6日からの低気圧による降雨で、**湯田ダム**において洪水貯留を行い、**約495万m³(岩手県庁約59杯分)**の水を貯め込み、下流河川の水位上昇抑制に効果を発揮しました。

○湯田ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、**湯田ダムで貯めた水の量は約495万m³**となります。

ダム下流の**瀬畑橋付近(北上市横川目)において、約0.7mの水位上昇が抑制**されたと推定されます。

(北上川ダム統合管理事務所の計算値より)

	流域平均累加雨量 ※1	最大流入量 発生日時	最大流入量 ※2	最大流下量 ※3	調節量 ※4	貯め込んだ 水の総量
湯田ダム	31 mm	4月7日 5:40	589 m ³ /s	394 m ³ /s	195 m ³ /s	495万 m ³

※1 流域平均累加雨量：降り始めから最大流入量を記録する直前(4/8,13:00)までの速報値

※2 最大流入量：ダムに流れ込んだ水量の最大値

※3 最大流下量：ダムから下流へ流した水量の最大値

※4 調節量：最大流入量と最大流入時の放流量との差

湯田ダムに貯めた水の量は、他の施設の容量に単純換算すると以下のとおりとなります。

・岩手県庁に貯めた場合：**約59杯分に相当**(岩手県庁の容積8万5千m³)

融雪出水に伴い、引き続きダムからの放流を行っておりますので、河川の水位等につきまして十分注意をして下さい。

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

発表記者会：岩手県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所

副所長(技術) 高橋 大三

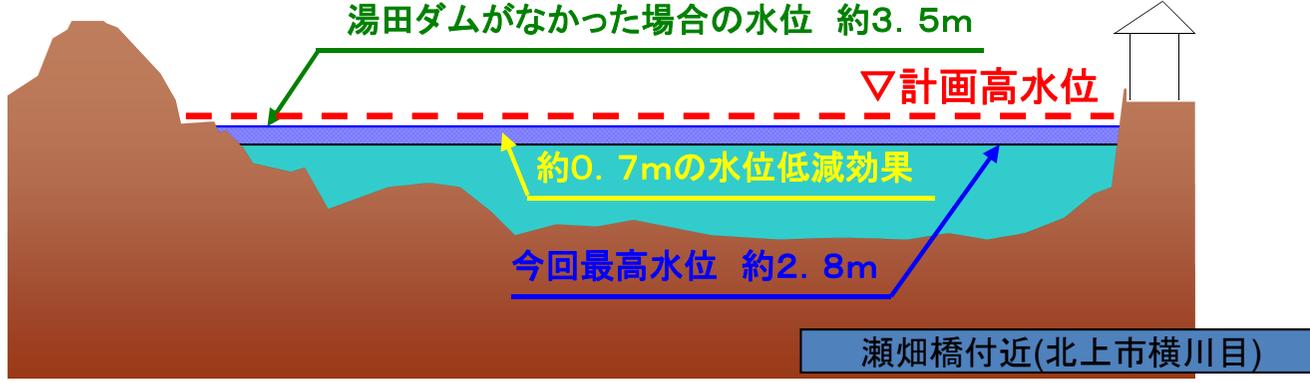
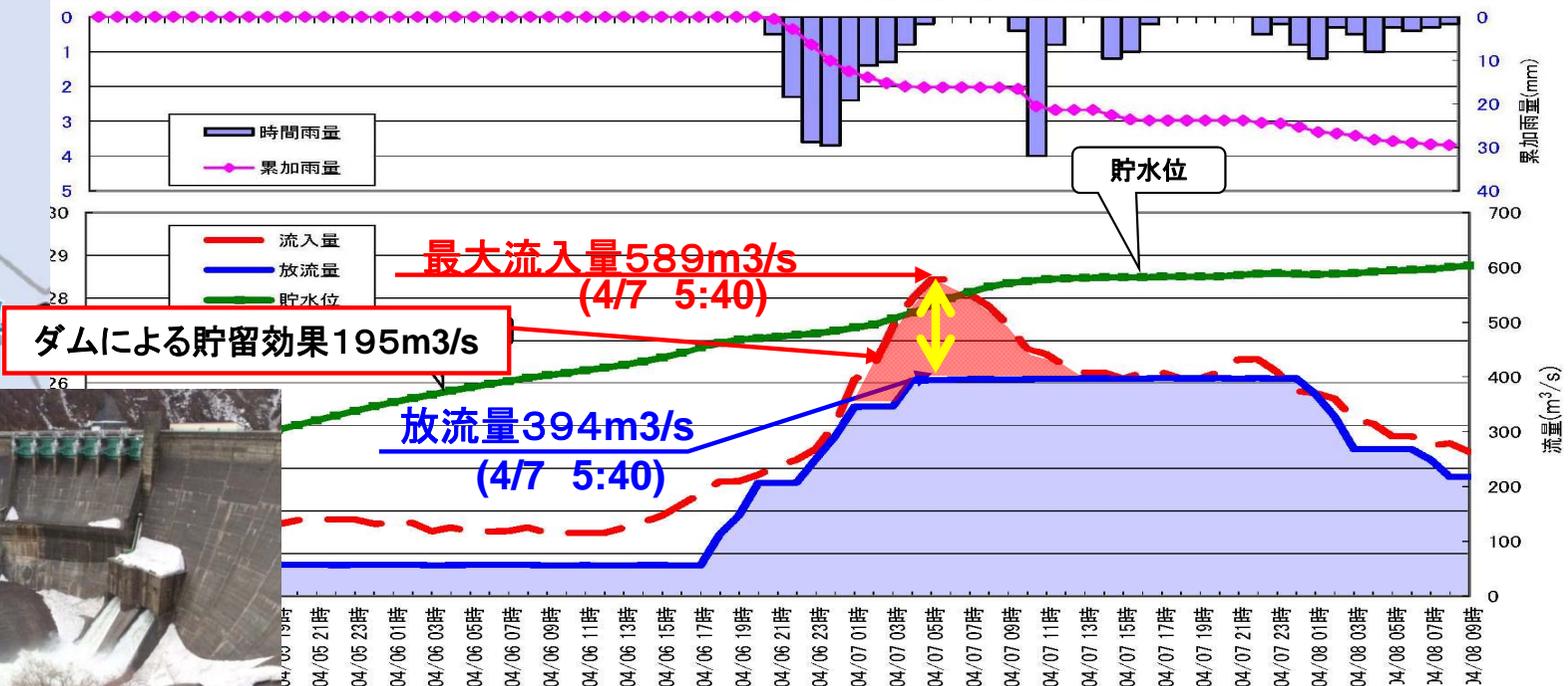
管理第一課長 中島 勇一郎

TEL 019-643-7831 (代表)

北上川水系 湯田ダムの効果 (平成25年4月6日 低気圧)

- 低気圧に伴う降雨で湯田ダム上流域において、時間最大雨量3mm、累加雨量31mmとなり、雪融けと合わせてダムへの最大流入量は589m³/sを記録しました。
- ダムにより、最大約495万m³(岩手県庁約59杯分)の水をダムに貯めて、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流で流下能力が低い瀬畑橋地点(北上市横川目)では、約0.7mの水位を低下させ、計画高水位超過を抑えることができたと推測されます。

瀬畑橋地点の水位(4/7)
 ダム調節後 : 2.80m
 ダムが無い場合 : 3.50m
 →約0.7mの水位低減



※水位については、詳細に計算した値ではなく、概算値となっております。